

地方創生事業に係る検証について

【1 地方創生について】

急激な少子高齢化、及びそれに伴う人口減少といった重大な課題に対処するため、平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。

これにより国と地方が総力を挙げ、東京への人口一極集中の是正など、地方創生・人口減少の克服に取り組むことが必要とされています。

地方版総合戦略に基づく事業については地方創生関連交付金等の活用が可能であり、他の自治体と同様、亀岡市においても「亀岡市人口ビジョン・総合戦略」を策定、各交付金を活用し、総合戦略に基づく事業を実施しています。

【2 「亀岡市人口ビジョン・総合戦略」の策定経過について】

- | | |
|--------------|--|
| 平成 26 年 12 月 | 国において「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、「まち・ひと・しごと総合戦略」が閣議決定。
国から、都道府県及び市町村においても各地域の実情に沿った「地方版人口ビジョン」、「地方版総合戦略」を策定するように通知。 |
| 平成 27 年 | 産官学金労言の有識者が参画した「亀岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において「亀岡市人口ビジョン・総合戦略」の策定について審議。
(第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画の策定と同時に策定作業) |
| 平成 28 年 2 月 | 「亀岡市人口ビジョン・総合戦略」を策定。 |
| 平成 29 年 3 月 | 地方創生関連交付金事業の内容に合わせて「亀岡市人口ビジョン・総合戦略」の内容を一部改訂。(以降、毎年度改訂) |

【3 亀岡市人口ビジョン・総合戦略について】（資料 1-2 参照）

項 目	内 容
人口ビジョン	本市における人口の現状と将来の展望（シミュレーション）を示したものの。 ＜例 示＞ シミュレーション① H72 年 66,129 人 （出生率 2.07 に上昇。転出超過継続） シミュレーション② H72 年 73,451 人 （出生率 2.07 に上昇。転出入均衡） シミュレーション③ H72 年 75,809 人 （出生率 2.07 に上昇。転出入均衡→転入超過）
総合戦略	本市の 5 カ年の施策の方向を提示するものとして、具体的な取組や数値目標を記載したもの。 総合戦略に記載した事業については、地方創生関連交付金の活用が可能。

【4 地方創生事業の効果検証について】

地方創生関連交付金等を活用した事業については、産官学金労言の各分野からの参画や、住民の参画を得て、事業の効果検証を行い、社会的ニーズに対応した見直しを図っていく必要があります。

平成 30 年度 地方創生関連交付金活用事業

交 付 金 等 種 別	事業数
地方創生推進交付金 ※交付率 1/2、3～5 カ年計画	4 事業

上記 4 事業について、各分野の多角的な視点からの意見を聴取するために、総合計画審議会進行管理部会において検証を行うものです。

【5 本議題の進行について】

①各事業に係る事務局からの説明



②各所管からの補足説明



③各分野からの意見

※上記のとおり、事業ごとに進行

<事業進行順>

No.	計 画 名	交 付 金	事業担当部課
1	移住促進拠点活用事業	地方創生推進交付金	市長公室 秘書広報課、ふるさと創生課
2	「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト	地方創生推進交付金	まちづくり推進部 都市計画課、都市整備課、土木管理課
3	今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業	地方創生推進交付金	生涯学習部 文化・スポーツ課、市民力推進課 産業観光部 商工観光課、光秀大河推進課、 農林振興課 文化資料館
4	森のステーションかめおか	地方創生推進交付金	産業観光部 商工観光課